



①

創作童話

『土のこびと フワフワフワ モークモク』

土のこびとって いったい何だろう？

これから「土のこびと」のお話 始まり始まり。

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

address : 〒174-0063 東京都板橋区前野町4-8-6

tel & fax : 03-3960-6052

e-mail : info@npo-soe.jp

この紙芝居は、オラクル有志の会ボランティア基金の助成を受けて作成しました。



②

《○○○保育園（小学校）》の 一郎は、
いえの人から イッチーと 呼ばれています。
イチゴが大好きな 一郎だからです。

家の庭に、
一郎が好きな イチゴのホッペちゃんと、
にぎやかな仲間たちが すんでいました。
オンブバッタの おんちゃん・ぶっちゃん。
ミツバチの ハッチャンや
モンシロチョウの モロチャンもいます。

《 》の言葉は場所に
応じて変えて利用し
てください。



3

あれあれ、どうにも元気が無いホッペちゃん。
仲間たちの姿も みえません。

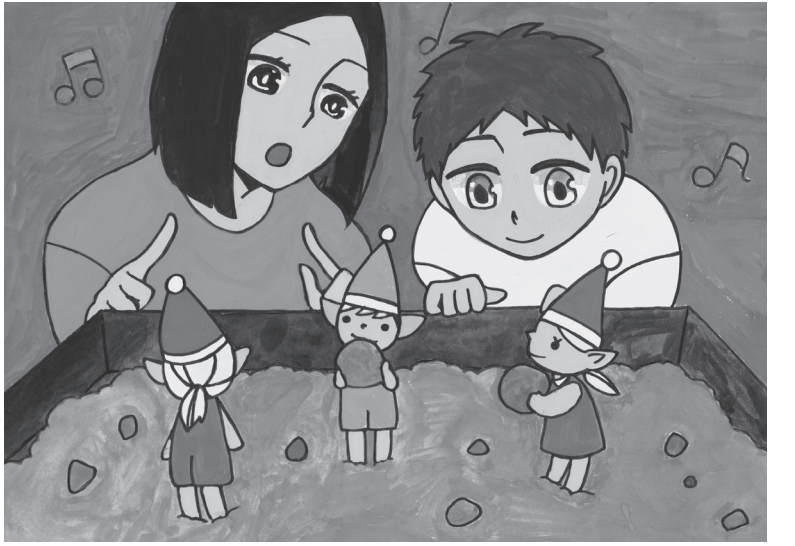
「このお庭、土が からんからん。

葉っぱもしおれてきた… おなかがペコペコ。」

いまにも倒れてしまいそうな ホッペちゃん。

さてさて、

仲間たちは どこにいったんでしょうね。



④

その頃、 イッチーの家では…

(ママ)「イッチー、庭の箱の中に、

この野菜くずをうめにいくわよ。」

ママとイッチーは いつも、野菜ゴミを
土にまぜて、何かを作っているのです。

今回で十回目です。

箱の土の中に、少しかわいた 菜っ葉や人参、
リンゴの皮などを埋めました。

(イッチー)「あれー、

ホッぺちゃんぐ ぐったりしているよ」

心配しているイッチーを見て、

ママは 野菜と土をかき混ぜながら、

おもしろい歌を歌いだしました。

♪土のこびとが モークモク

野菜が変身 フーフフワ

こびとが増えて モークモク

栄養たっぷり フーフフワ



5

♪ やさいがおいしい モーグモグ

いっぱいたべるぞ パークパク

歌っているのは、箱の中のこびとたち。

野菜をもらって、元気いっぱい。

楽しそうに 踊りだしました。

♪ 仲間がいっぱい モークモク

土がへんしん フーフフワ

こびとたちのパワーが、土にみなぎってきました。



6

それから 何日かたちました。

ママとイッチーは 野菜くずを入れた土を、
ホッペちゃんの下りや 庭に埋めました。

すると、誰もいないと思っていた庭に、
ミミズのニョロメが 顔を出しました。

「さあ、オレ様も これから忙しくなるぜ。

なんてったって、ミミズ様の出番だ。」

そうやって、ニョロニョロと

上に下に 土をかき回し始めました。

あっという間に、

おいしい土の栄養が、地面に広がりました。



⑦

♪ モークモク フーワフワ

モークモク フーワフワ

ホッぺちゃんの根っこから、

何かあたたかく おいしいものが、

ぐんぐん 入り込んできました。

「あー、おいしいー！ これで、元氣になれそう。」

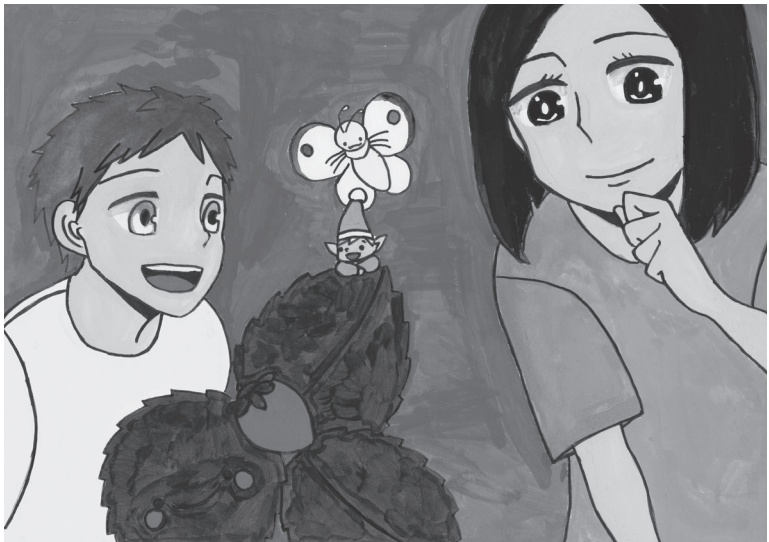
それからしばらくして、

ホッぺちゃんの白い、 かわいいお花が咲きました。

やがて、 花が咲き終わったあとに、

小さな白いつぶが あらわれました。

イチゴの赤ちゃんです。



8

♪ 大きくなれなれ イチゴの実

まっかになれなれ イチゴの実

待っていられないイッチーが
歌いながらやってきました。

ホッぺちゃんは

うんうんと うなづいたかと思うと、
体いっぱい踏ん張っています。

(イッチー)「ママ、たいへん、イチゴがー」

(ママ)「どれどれ。」

ママとイッチーは、裏庭の畑に飛んでいきました。

(イッチー)「あー、すごいや。」

真っ赤なおいしそうなイチゴだ。」

イッチーの声は、青空に響きわたりました。

ママは

(ママ)「土のこびとのおかげね。」

とつづやきました。



9

庭に草がしげり、いろいろな実がなっています。

いつの間にか、

にぎやかな仲間たちも 戻ってきました。

おんちゃん・ぶっちゃんに、

ハッチャンや モロちゃんの姿もみえます。

ニヨロメは

相変わらず土の中で 動き回っています。

すっかり元気になった庭の 土の中から、

♪ モークモク フーフワフワ

あれあれ、歌が聞こえてきましたよ。

みなさんも、野菜くずをつかって、

栄養たっぷりの 土を作ってみませんか。